



まちの話題



緑陽台小学校6年生が まちづくりの提案

緑陽台小学校の6年生15人が、「音更をより住みよいまちにするための提案」を役場で行いました。発表には、児童たちがインタビューを行った小野町長、福地教育長ほか担当職員、関係機関が出席。自然環境・観光・農業・福祉防災の4分野のグループに分かれた児童たちは、スライドの他にも壁新聞やホームページ作成、オリジナルキャラクター考案を行うなど、それぞれ工夫を凝らした発表を行いました。



温暖化の影響について 学びました

音更町温暖化対策講演会が共栄コミセンで開催され、180人が参加しました。気象予報士である講師の菅井貴子さんには、温暖化の影響として「強い台風が増える、急速に発達した低気圧が増える、北海道が寒冷化する」と3つの可能性を提示したほか、実際に道内で起きた災害を取り上げ、災害対応の心構えを伝えました。最後に温暖化対策として、みんなで取り組む「連携」の大切さを話し、参加者は熱心に聞いていました。



2023.3



おとふけ 20



地域のみながつながら
安心して楽しめる場所を



総合福祉センターで「コミサポカフェ」が開催され、30人が参加しました。運営スタッフのコミュニティサポーター15人と、ボランティアの帯広大谷短期大学社会福祉科介護福祉専攻の1年生6人が、参加者と共に茶やお手玉、ふまねっなどを楽しみました。参加した高橋町子さん（80）は「知らない人とも話せて楽しかった」と話してくれました。



雄飛が丘南区第三町内会
創立30周年記念式典



総合福祉センターで雄飛が丘南区第三町内会創立30周年記念式典が開催されました。町内会長の白金洋一さんは「30周年は通過点。創立40周年、さらにその次に向けて努力を続けていきたい」とあいさつ。また、歴代会長を務めた今井武さんと池戸繁さんに白金さんから表彰状が贈られました。最後は一本締めを行い、会場は大きな拍手に包まれました。



音更小学校
開校120周年記念式典



音更小学校開校120周年記念式典が同校体育館で開催されました。6年生は会場、5年生以下は動画をつなぎ、教室での参加となりました。児童会長の白濱大知さん（6年生）は「大人になって訪れたときも子どもたちの笑顔があふれる場所であってほしい」とあいさつ。他にもタイムカプセルの封入や、同校卒業生のピアニスト川上敦子さんによる記念演奏が行われました。



特別展「作曲家・伊福部昭
と音更」を開催しました



図書館で特別展「作曲家・伊福部昭と音更」が開催されました。町ゆかりの作曲家である伊福部昭氏にまつわるパネルや、開催されたコンサートのポスター、写真、少年時代に関係する人物などさまざまな物が展示されました。また、オープンピアノには音更町歌とゴジラの楽譜を設置。訪れた人たちは展示品を見たり、ピアノを奏でたりして楽しみました。